



フォーシーズンズ ホテル ジョルジュ サルク Four Seasons Hotel George V, Paris

www.jhrca.com/worldhotel?cat42

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。

これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載

お影さまで拙著書「World's Leading Hotels」は好評を頂いておりますが、写真集第2弾「World's Prestige Hotels 世界の名門ホテル(仮称)」をこの度、発刊する運びとなりました。世界最高峰のホテルの華麗な写真と解説にご期待ください。



筆者 小原 康裕

ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健衛代表取締役。

2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。

JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。

www.jhrca.com/worldhotel

現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。

多くの美しい写真と興味深いコメントで、世界中のホテルとそれら関連都市を紹介。



- ① パリのエスプリを感じさせる気品あるエントランスホール。フラワーディスプレイは毎週テーマが決められ、その予算はなんと年間1億円といわれる
- ② 華麗な装飾に目を奪われる「Le Cinq」のレセプションホール
- ③ 威厳さえ感じさせる雰囲気漂うコンシェルジュデスク
- ④ 「Le Cinq」の店内を鮮やかに彩るフラワーアレンジメント
- ⑤ クリスチャン・ル・スケール氏の最高の料理を楽しむ「Le Cinq」
- ⑥ 中庭に用意されたシャンデリアが煌めくゴージャスなカパナ



パリの数あるホテルの中で揺るぎない王道を行くホテルが「Four Seasons Hotel George V, Paris」である。パリのエレガンスを象徴しているかのようなホテルだが、ネーミングは英国王「ジョージ5世」であり、建物を建てたのはアメリカ人という変わり種。しかし完成後はフランス人のフランソワ・デュブレールが買収し、あらゆる情熱を注いで最もフランス的なホテルに育て上げた。館内がノブレスな雰囲気包まれているのは、至る所に配置された美術品のためで、第一級の絵画、タペストリーなどを鑑賞できる。ジョルジュサンクは美術館そのものであり、この空間にさりげなく接するぜいたくは、また格別なものと言えよう。

前身は1928年に完成した8階建ての美しいアールデコ様式のホテル「George V」で、歴史的建造物に指定されている。1999年にフォーシーズンズの傘下に入り、3年間に及ぶ全面改装を経てリニューアルオープンした。修復された18世紀のタペストリーや華麗なアートコレクション、ホテル内を鮮やかに彩るフラワーアレンジメントなどがパリのエスプリを感じさせる上品な雰囲気を演出している。なお、ジョルジュサンクは2011年9月にフランス全体で9番目のホテルとして「PALACE」に認定された。

ジョルジュサンクはスイートを含めて全244室の魅力あふれる客室を用意している。筆者にアサインされた部屋は約60㎡の広さがある「Four Seasons Suite」で、気品あるスイートに付帯したテラスからパリの街並みが楽しめる。ホテルの中心に位置するのがゴージャスなラウンジ「La Galerie」で、ピアノの生演奏が入り至高の時間が流れる。手前には英国流の重厚なメインバー「Le Bar」があり、いちばん奥にメインダイニング「Le Cinq」を配置している。「Ledoyen」で采配を振った3ツ星スターシェフのクリスチャン・ル・スケールが2014年に就任して、高い評価を得ている。一方、カジュアル感覚の「Le George」が新設され、地中海料理が人気だ。スパ施設「The SPA」はパリで最も洗練されたスパとして評価が高く、宮殿風のスイミングプールやフィットネスジムも充実している。

ジョルジュサンクはシャンゼリゼ通りから一步奥へ入った魅力的なロケーションで、客層が極めて良いことではパリ随一との定評がある。宿泊客一人当たりの従業員の数は一般の高級ホテルの3倍ともいわれ、リピーター客が多いのも納得で、真のホスピタリティを体感できる。日本人客には日本語の新聞や日本茶、そして浴衣まで用意される。「Le Cinq」では和朝食も可能という徹底ぶりがうれしい。



- ① 正装したドアマンがゲストを迎え入れる「Four Seasons Hotel George V, Paris」の正面エントランス車寄せ
- ② ピアノの生演奏が入りぜいたくな時間が流れる「La Galerie」
- ③ 三色旗がたなびき、美しくライトアップされたジョルジュサンクの夜景
- ④ 正統派の英国スタイルを貫く重厚なメインバー「Le Bar」
- ⑤ 「Four Seasons Suite」のベッドルームからリビング方向を望む
- ⑥ 貴族趣味のトロンブリユ(騙し絵)が映えるスイミングプール